さかい 社協だより
VOL.177
ふれあいネットワーク

２０２６月７発行
発行所：社会福祉法人　境町社会福祉協議会
茨城県猿島郡境町長井戸１６８１－１
TEL：0280-87-2525
FAX：0280-87-5825
URL：http//www.sakai-syakyo.com

～社協（しゃきょう）は、社会福祉協議会の略称です～

境町 社協　検索

※最新の情報は、HPまたはブログにて公開しています。是非ご覧ください!!

今回は、社協だよりと ボランテ の合併号です

社協HP QRコード

災害ボランティアセンター設置運営訓練

去る１月25日、災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催しました。日本各地の災害ボランティアセンターで支援にあたるピースボート災害支援センターより講師を迎え、災害ボランティアセンターの役割や運営に必要なこと等のお話しをしていただきました。

参加者はボランティアセンターの受付スタッフと、災害ボランティアに参加する際の流れをそれぞれ体験し、日頃からの備えの大切さを学びました。

赤い羽根及び歳末たすけあい募金報告

たくさんの方々の協力のもと、多くの募金をいただきましてありがとうございました。

赤い羽根募金合計金額　2,859,894円

（内　訳）

○戸別募金・・・・・・・2,189,600円
○学校募金・・・・・・・・ 207,254円
○職域募金・・・・・・・・・ 47,921円
○大口募金・・・・・・・・ 380,000円
○自動販売機募金・・・・　2,415円
○募金箱・・・・・・・・・・・ 32,045円
○その他・・・・・・・・・・・・・・ 659円

境高校、境一中、境二中、境小、
長田小、猿島小、森戸小、静小、
おおぞら保育園、ひまわり保育園、
遊徳保育園、認定こども園はなぶさ、
認定こども園境いずみ保育園、
認定こども園バンビーノせいしょう、
認定こども園キリスト愛児園、
認定こども園Kids'Gardenさかいすぎのこ
（敬称略）

境町役場、商工会、環境センター、
社会福祉協議会　（敬称略）

大口募金協力企業・事業所（順不同・敬称略）

・㈱常陽銀行境支店　・㈱サクライ　・㈲内海盛作商店　・㈱ホームプラザセキ　・結城信用金庫境支店
・㈲マスゼン　・松本文具店　・㈱安井商店　・中和建設㈱　・㈲キタムラ電気商会
・㈲折原自動車整備工場　・㈲武市自動車　・茨城西南医療センター病院　・茨城県信用組合境支店
・さ志まや製菓㈱　・あだち眼科　・いとが眼科　・アライストアー　・㈲菊地自動車整備工場
・㈱茨城畜産商事　・㈲長井戸青果地方卸売市場　・㈱新井建設工業　・一休だんご　・㈱生井土建
・山下工業㈱　・遠東石塚グリーンペット㈱　・センコー㈱　・スーパーあかおぎ　・㈲赤荻建設
・㈲栗原緑化土木　・加藤建設工業㈱　・㈱関根重機　・㈱新栄開発　・㈱染谷建設工業
・中村歯科医院　・中村医院　・小島医院　・㈲カナクボ重機　・㈱福島工務店
・㈱つくば資源化センター　・㈱平川モータース　・㈱篠原工務店　・小林工業㈱
・東京三谷セキサン㈱　・茨城むつみ農業協同組合　・境町金融団

◆歳末たすけあい募金　合計金額　1,857,919円

支援が必要な世帯に配分することができました。

【内訳】
○戸別募金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,641,000円
○団体募金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80,000円
○前年度剰余金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・136,615円
○その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・304円

▲学校募金境高等学校のみなさん

◆歳末たすけあい配分事業報告

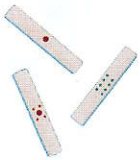
・配分対象者・・・令和７年４月１日以前より、境町に居住している者
　世帯全員の町民税が非課税である世帯
・配分件数及び配分額等・・・・９９件（1,６９２,０００円）
・米の配布・・・・・・・・・・１世帯５kg

（境町生産組織運営協議会様・茨城県農業機械士協議会境支部様より・・・新米を21袋寄贈いただきました。）

※募金額から配分金を引いた残金は、次年度の歳末たすけあい事業に使われます。

飲まない・吸わない・賭けない

健康マージャン



頭と指先の運動をしながら

仲間づくり・健康づくり・生きがいづくり

日　時 毎月第１水曜日 10：00 ～ 12：00　　**会　場** 境町社会福祉会館

参加費 100 円　　**対象者** 町内在住の 65 歳以上の方

※詳細については、毎月「町お知らせ版」に掲載いたします。

お問合せ　境町社会福祉協議会　TEL.0280-87-2525

健康・生きがいづくり・通いの場　令和８年度

楽らく健幸広場

色々なことにチャレンジして健康なからだづくりを目指しましょう

参加費無料

日　時 毎月第３水曜日　10：00 ▶ 12：00

会場 境町社会福祉会館 境町長井戸 1681-1

５回参加ごとにプレゼントあり

- ✓〔対象者〕町内在住の 65 歳以上の方
- ✓※１人片道 250 円で送迎あり

※詳細については、毎月「町お知らせ版」に掲載いたします。

お問合せ　境町社会福祉協議会　TEL.0280-87-2525

第30回茨城県健康福祉祭 いばらきねんりん文化祭

わくわく美術展

境町より出展された方々が、入選・入賞されましたのでご紹介いたします。（順不同敬省略）

洋画の部

入　賞

「生きもの話」

仲松　章

洋画の部 入　選：中山　波江　「森の古木」
細野　かつえ「収穫」
金　美佐　「実る」
吉田　敬　「ネーブルパーク」
立川　益信　「羅漢さん達」

写真の部 入　選：渡辺　一雄　「怪しい霧」

主催：社会福祉法人　茨城県社会福祉協議会

令和7年11月～令和8年3月 ご協力ありがとうございました。(順不同・敬称略)

社協寄付金・物品

◆茨城西南医療センター病院看護師会
……５０，０００円

◆㈲茨城シー・ティー・ヴィー・サービス
……５０，０００円

▲境第一中学校ボランティア委員会

▲茨城西南医療センター病院看護師会

善意銀行

預託品の部

◆感応寺…… ４０，０００円

境第一中学校	プランター花	匿名(4名)	食品
㈱フジマツ	さつまいも	匿名	洗剤・食品
菅谷百合枝	紙ゴミ箱	匿名	食品・犬用シャンプー
菊地ちよ子	紙ゴミ箱	匿名	紙オムツ・もち米

使用済み切手及び書き損じハガキ・ベルマークなど

ひまわり保育園・認定こども園境いずみ保育園
森戸小学校・静小学校・県西県民センター・染谷建築
絵てがみつばき会・㈲土屋葬儀社・㈲朝日商事
石川津弥子・宇都木利之・秋田恵美・飯田栄子・匿名

境町社会福祉会館入口にきずなBOXを設置しています

境町社会福祉協議会では、寄付していただいた食品を支援が必要な方にお渡しする活動を行っています。

この度フードバンク茨城と連携し、より気軽に食品を寄付できるよう社会福祉会館入口に「きずなBOX」を設置しています。

きずなBOXに寄付できるもの

常温保存可能、未開封で賞味期限が２か月以上残っている食品
お米、缶詰、レトルト食品・乾麺、調味料など

きずなBOXに寄付できないもの

要冷蔵・冷凍食品、生鮮食品、酒類、ペットフード

～日常生活自立支援事業のご案内～

日常生活自立支援事業は、認知症や知的障がい・精神障がいなどにより、日常生活を送る上で不安のある方が、地域で安心して自立した生活が送れるようにお手伝いをするものです。

サービスを利用できる方

○認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者等であって、福祉サービスの契約など、ひとりで判断することが不安な方、生活費の管理に困っている方。

サービス内容

○福祉サービスの利用援助：福祉サービスを安心して利用できるようお手伝いします。
○日常的金銭管理サービス：毎日の暮らしに欠かせない、お金の出し入れのお手伝いをします。
○書類等の預かりサービス：印鑑や証書などを安全・確実な方法でお預りします。

利用料金について

○１時間あたりの利用料：1,500円
○書類等預りサービス：１ヶ月500円
※生活保護を受けている方は無料

サービス利用の手順

○ご本人はもちろん、ご家族や民生委員などからの相談にも応じます。その後、専門員がご本人の希望をお伺いし、その方にあった「支援計画」を提案します。ご本人の了承をいただいた後に契約書を交わしサービスの利用開始となります。

境町ボランティアセンター広報誌

さかい ボランテ

第31号

発　行 境町ボランティアセンター
事務局 境町大字長井戸1681番地1
境町社会福祉協議会
電話０２８０（８７）２５２５
にこにこ

ボランティア（自発的奉仕者）をフランス語では**ボランテ**（喜びの精神）といい、ボランティア精神を表わした名称です。

会場いっぱいに集まったボランティア会員

令和8年3月23日（月）

ボラ連臨時総会

社会福祉会館

永年活動者表彰
左　酒井基子さん　右　相良光子さん

ボランティア連絡協議会（ボラ連）にお別れ

平成６年（1994年）、手話や朗読、配食サービスなど、福祉関係の活動をしている自主活動サークル団体を組織して出発したボラ連は、３月23日に開いた臨時総会で３月31日をもって活動を休止することを決めました。

発足した翌年に阪神淡路大震災が起き、「ボランティア元年」とよばれボランティアの機運が盛り上がり、活動が活性化しました。境町では社会福祉会館も完成していて、町や事務局の手厚い支援、協力があり、順調な滑り出しでした。

▲新築された社会福祉会館スペース活動の拠点です

▲活動資金を自分達の手で（町民祭にて赤飯販売）

平成７年自分たちで自主財源を作ろうということで、町民運動会やふるさと祭りでのお赤飯作りと販売にも取り組みました。これは、結果としてボラ連会員の結束と一体感を作ることにもなりました。

2011年に起きた東日本大震災以降、各地で大きな地震や災害がありましたが、それらの災害支援金にもお赤飯は役立ちました。

▲高速道路の脇に積まれた黒い袋

32年間のうち、コロナ禍が襲う前の約25年間には年2回研修旅行が実施されていました。一泊研修もあり、夜の交流会の最後に皆で輪になって踊った炭坑節や境音頭などは、今でも印象深く思い出されます。東日本大震災の後には被災地であり支援金を送っている南相馬市へも行きました。途中高速道路の上からは除染土の入った黒い袋が積まれているのが見えました。

▲南相馬市へ一泊研修旅行　平成 30 年7月9日～10日

各サークル活動風景

▲朗読・すばる

▲点字サークル

▲わーくすクラブ

▲シルバーリハビリ体操

コロナ禍の間にも各サークルではそれぞれの工夫で活動は続けられましたが、総会が紙面決裁になり、研修旅行がなくなり、赤飯作りが中止になり、会員は年齢を重ねということで、協議会としての活動を続けていくことが難しくなってしまいました。

今後は各サークルがボランティアセンター（ボラセン）の所属団体として活動を続けることになります。各サークルの活動は今までと同じですし、研修旅行なども続けていけたらいいなと思っています。

32年間ボラ連へのご協力本当にありがとうございました。

2月14日（土）今年も赤飯販売

いろいろ学びました

ひまわり会　森　まり子

この度、赤飯作りに参加させて頂きありがとうございました。

初めてなので不安と心配でいっぱいでしたが、会長さん初め皆さんが大変やさしく指導して下さり、楽しく出来ましたこと、心より感謝しております。

家でも以前より赤飯は作っていましたが、又新たに色々と学ぶこともあり、皆さんの協力、そして苦労のもとに、おいしい赤飯が出来るものと、本当に心から思いました。

又機会がありましたら協力させて頂きたいと思っております。

本当にありがとうございました。

赤飯販売に参加して

シルバーリハビリ体操指導士会

松田　恵美子

コロナ禍で中止していた赤飯販売を昨年に続き、今年も中央公民館で開催されている生涯学習フェスティバルで行いました。前評判も上々で、販売の三十分前から大勢のお客さんが並び、またたく間に３４２パックを完売しました。

前日から仕込みをし、早朝から蒸し、パック詰め、運搬、販売などと皆で力を合わせて作った赤飯はとても心がこもっていて美味しく出来上がりました。

収益金は災害復旧・復興支援金として送られたと聞いています。私も被災者の一助になれたかなぁと思っています。

他のサークルの仲間と親交を深めることができ、このような機会があったら、また参加したいと思います。

すばるの研修旅行に参加して

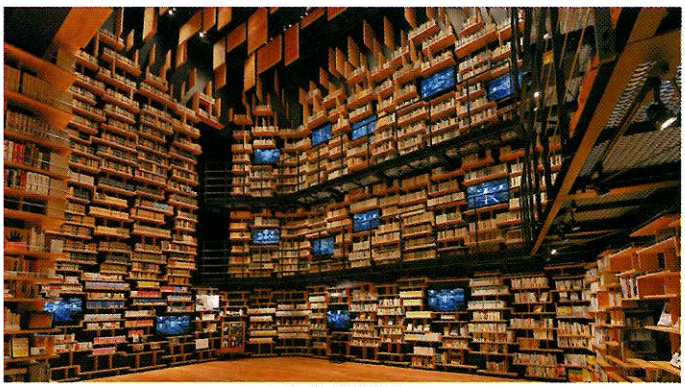
朗読ボランティアすばる　池田　利佳

待ちに待った3月16日。すばる研修旅行の日です。今回は所沢にある「角川武蔵野ミュージアム」に行ってきました。ここは、図書館・美術館・博物館が融合した複合文化施設で、建物は境町でも馴染み深い隈研吾さんが手掛けています。

一番印象に残っているのはこのミュージアムの目玉である本棚劇場です。ここは、約９ｍもの高さがある吹き抜けスペースの壁一面に本が配架されており、そこへ文字をテーマにしたプロジェクションマッピングが投影され、まるで太古から未来へと旅しているような感覚になりました。

今回の研修では沢山の本に囲まれ、見学するだけでなくその場で本を手に取りじっくり読むことができました。本との関わりが大きい「すばる」にとっては良い刺激が得られ、次の活動へとリフレッシュできた事と思います。

新鮮な気持になったところで、これからも「すばる」の活動を楽しみながら続けていきたいと思います。



▲本棚劇場

▲ミュージアムの建物をバックに

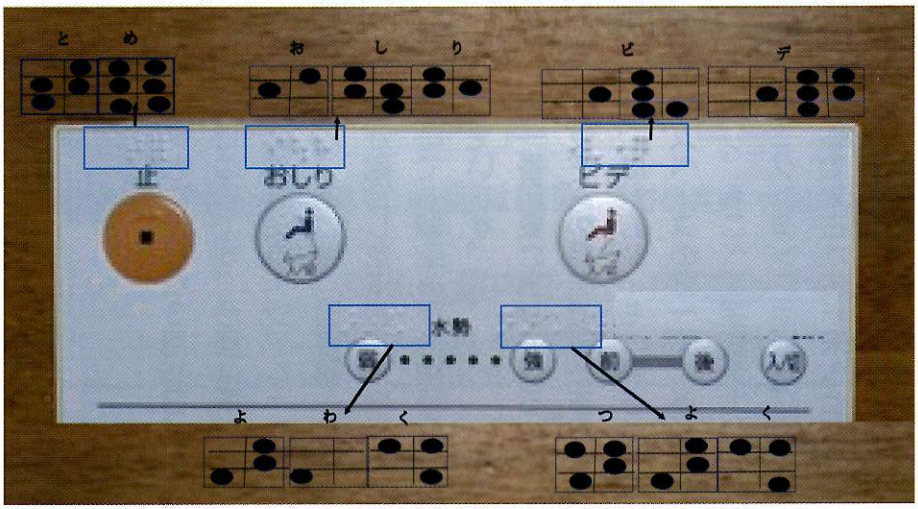
東京2025デフリンピックに手話通訳として参加して

境町手話サークルわたぼうし　須藤とよ子

昨年の11月、主に東京を会場として、きこえない、きこえにくい人たちの国際的なスポーツ大会デフリンピックが開かれ、世界81カ国と地域から約3,000人の選手が参加しました。日本人選手は21競技のすべてに参加し、日本史上最多の51個のメダルを獲得しました。金16個、銀12個、銅23個です。陸上、バドミントン、水泳、空手、バレーボール、テニスなどが強かったです。オリンピックとルールは同じですが、スタートの合図や審判の指示は、音の代わりに光の点灯や旗など、目で見て判断します。国や手話言語が違う選手たちが集まり、お互いの健闘を讃え認め合うところが、きこえる、きこえないに関係なく、スポーツを通して心がつながる場でもあります。選手たちの真剣に挑戦する姿は、見る人にも大きな勇気を与えてくれます。

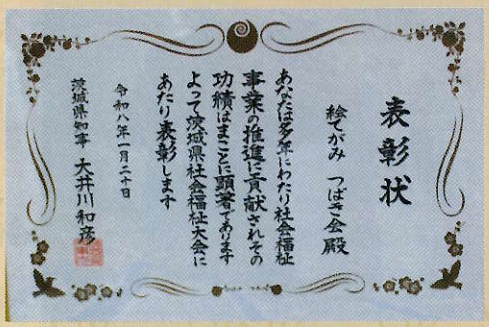
私はボウリング会場で日本の手話言語通訳の担当でした。会場全体やYouTube配信にはインターナショナルサイン（国際手話）が使用されます。３年後の2029年はギリシャでの開催です。その頃には今勉強中のインターナショナルサインを身につけて、外国の選手とスムーズにやり取りできるようになりたいと思っています。

身近にある点字③　ウォッシュレットについている点字　点字ボランティア



◎点字ボランティアでは、会員を募集しています。
毎月第３水曜日に活動中です!
宜しくお願いします。

茨城県知事表彰



本年度は絵手紙つばき会とさわやかステップの二つが表彰されました